

# 連携・協働のカ・タ・チ

令和2年6月18日発行 福島県教育庁会津教育事務所



## 公民館と学校との連携・協働関係づくり

### ～ 公民館訪問の活用 ～ 三島町公民館

会津教育事務所では、域内13市町村の公民館訪問を毎年実施し、公民館の管理運営や事業推進上の諸問題について研究協議等を行い、社会教育の充実を目指しています。

今年度最初の公民館訪問は、6月3日の三島町公民館でした。三島町公民館では、公民館と学校等との連携・協働関係づくりを一層進めるために、公民館訪問のもち方（参加者及び研究協議の内容・形態）を次のように工夫し、実施しました。

#### 参加者

- 教育委員会教育長
- 公民館職員（課長、係長、主査、主事）
- 地域学校協働活動コーディネーター
- 放課後児童支援員
- 社会教育委員
- 各小中学校長
- 会津教育事務所社会教育担当

#### 研究協議

- 少人数編成によるグループワーク（熟議）
- 1班 …… 総合学習支援事業について
- 2班 …… 放課後児童クラブについて
- 3班 …… 若者交流促進事業について



【全員マスクをし、互いの間隔をとってグループワークや全体発表を行いました】



三島町公民館  
志田雅史さんのお話

今回、初めて小中学校の校長先生や社会教育委員を交えてのグループワークを行いました。それぞれの立場の意見を共有することで、社会教育と学校教育とが、地域を含め「三位一体」となって取り組むことができると感じました。また、公民館として、地域と学校を繋ぐ橋渡しの役割を担う一方で、多種多様化する社会の要望に応えるために、幅広く学びの環境整備をしていかなければいけないと感じました。課題を解決するために、地域と学校が共通の目標を持ち、広い視野で考えることで「当事者意識」を相互に高め合うことができるのではないかと思います。



## この実践から学ぶポイント！

地域と学校の連携・協働を進めるためには、まず、関係者が顔を合わせ、互いを理解し合い、連携・協働への意識を強くしていくことが必要です。そのために有効なのが「熟議」です。

三島町の公民館訪問では、社会教育行政担当者、地域学校協働活動コーディネーター、小中学校長等が集い、「熟議」（グループワーク）を行いました。今回の三島町の取組は、そこから生まれた関係性を大切に、出されたアイデアや意見を実現していくきっかけづくりとしてとても有意義な機会となりました。